

---

## 第二回 事業者間ローミング等検討会に伴う質問事項等について

～質問事項等への回答～

---

**TCA**

<sup>NTT</sup>**docomo**

*au*

SoftBank

**Rakuten Mobile**

2022/10/25

# 更問21

質問者：東京大学 相田 仁様

質問先：TCA

質問内容：回答頂いた内容が理解できないため、もう少し分かりやすく回答頂きたい。

回答：LTEではHSSの認証後、情報を伝送するためにPDN※<sup>1</sup> という「通信路」を生成することが標準上規定されております。PDNは【一般呼】、【緊急呼】、【データ通信】それぞれで生成されます。ローミング時における音声通信の場合に於いても

- ・ 一般呼用のPDN (P-GWにあるIMS-APN※<sup>2</sup> に対し接続)

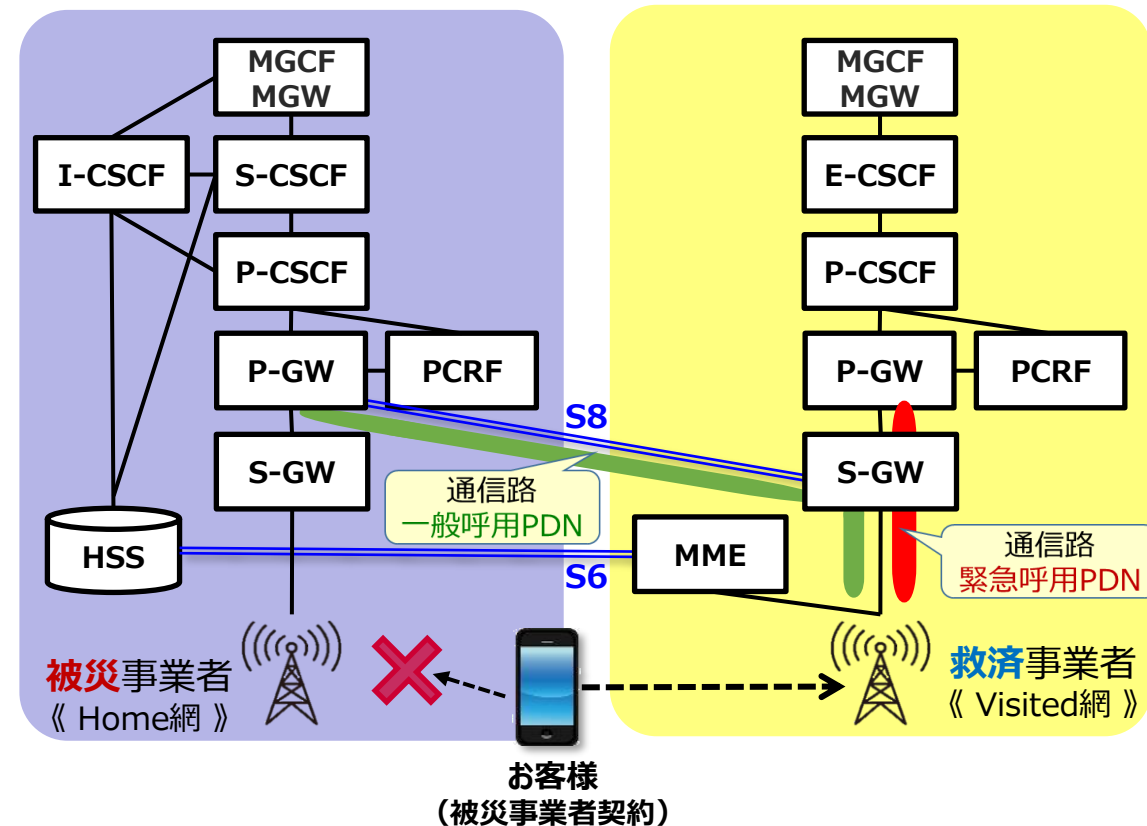
- ・ 緊急呼用のPDN (P-GWにあるSOS-APNに対し接続)

をそれぞれ生成し、これらを通じて通信することが標準に規定され、既存の端末・ネットワーク共に準拠しております。

第1回目資料1-3のP6『緊急呼発信のみローミング時』に張られる緊急呼用のPDNでは、一般呼としての取り扱いとなる緊急呼の呼び返しを疎通させることができません。

また一般呼用のPDNは、Home側のP-GWにあるIMS-APNに対し張ることが標準上規定されていることから、救済事業者に閉じた処理を行うことができません。

緊急呼用のPDNは救済網側P-GWにあるSOS-APNに対し張ることが標準仕様となります。



※1.PDN : Packet Date Network

※2.APN : Access Point Name

## 質問26

質問者：東京大学 相田 仁様

質問先：TCA

質問内容：緊急通報に対する呼び返しは日本独自の要求条件であり、標準化は難しいかもしれないが、米国、カナダ、韓国で一斉に緊急通報のみならず一般通話やデータ通信を含むローミングが開始されようとしていることをふまえ、ローミング実現にあたって現在の標準に不十分な点があればこれらの国とタイアップして標準化をめざしてほしい。

回答：ご理解頂いている通り、呼び返しの仕様を標準化するのは難しいと考えておりますが、標準化も一つ的手段として引き続き検討させていただきます。

**参考：前回回答**

---

# 質問21

質問者：東京大学 相田 仁様

質問先：TCA

質問内容：資料1-3の6ページにある発信のみのローミングは緊急呼以外の一般呼に適用することはできないのか。  
適用する場合に問題点があるとすればどのようなことか。

回答：一般呼（IMS-APN）と緊急呼（SOS-APN）と別のAPNに張ることが標準仕様となっているため技術的に困難です。  
LBO方式での、一般呼については、必ず、ホーム網側音声交換機（IMS）を用いて処理する標準仕様となっており、  
緊急呼のようにローカル側で閉じて処理することが出来ません。

**TCA**

**一般社団法人 電気通信事業者協会**  
Telecommunications Carriers Association